

特別展

日本の蝶

The Butterflies of Japan

2014年

7月19日[土] - 9月23日[火・祝日]

東京大学駒場博物館

入場無料

開館時間：10:00-18:00 (入館は 17:30 まで)

休館日：火曜日、但し、9月23日(火曜・祝日)は開館

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 自然科学博物館

共催：目黒区（みどりと公園課）

後援：環境省関東地方環境事務所

目黒区教育委員会

日本昆虫学会

日本鱗翅学会

協力：NPO法人日本チョウ類保全協会

総合研究大学院大学神経行動学研究室

昆虫 DNA 研究会

東京大学総合研究博物館

東京大学教養学部附属高度化機構社会連携部門

撮影：伊知地国夫



東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部

265種に及ぶ東大所蔵の蝶類標本



毛利秀雄コレクション

環境省 「種の保存法」指定種



ヒョウモンモドキ



ゴイシツバメシジミ

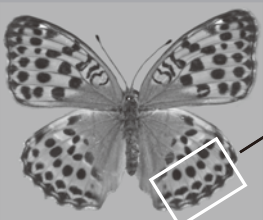


オガサワラシジミ

高校生のための金曜特別講座

講演者：東京大学総合研究博物館 矢後勝也
 日時：9月5日(金) 17:30-19:00(17:00 開場)
 会場：東京大学駒場 I キャンパス 18号館ホール
 参加無料、事前申込不要、当日直接会場にお越しください。
 詳細は下記ホームページにてご確認ください。
 URL: <http://high-school.c.u-tokyo.ac.jp/>

表紙の写真／撮影：伊知地国夫
 ウラギンスジヒョウモン♀
 クローズアップ写真です。

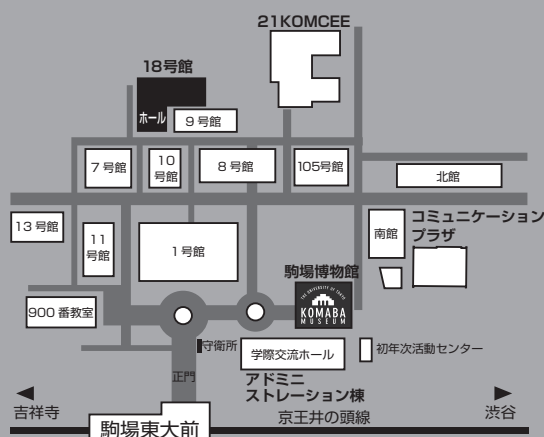


特別展

蝶(チョウ)は美しく身近な生き物であり、環境を反映する指標として重要な存在でもある。今回は本学旧教養学部長を歴任された毛利秀雄名誉教授の寄贈等による駒場博物館の蝶類コレクションを中心に、一部を総合研究博物館の標本で補いながら、日本産全 242 種のほか、海外から飛来した迷蝶や人為的に持ち込まれた外来種を加えた計265種に及ぶ東大所蔵の蝶類標本を展示する。

この中には、ゴイシツバメシジミやオガサワラシジミのような環境省「種の保存法」指定種および環境省レッドリストに掲載されている希少種など、普段ではまず見ることができない貴重な標本が含まれる。

一方、近年の生態系破壊や地球温暖化、外来種問題で大きな影響を受けている代表的な蝶類の変化も研究成果と合わせて解説、図示する。美麗な実物を学術標本として展示しながら、日本に生息する蝶類の現状を発信することで、環境保全の推進とともに、さまざまな環境問題に一石を投じることができれば幸いである。



お問い合わせ先
 東京大学 駒場博物館
 住所：153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
 Tel: 03-5454-6139 Fax: 03-5454-4929
 ホームページ：<http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/>